



# くらしの中のSDGs

Vol.10

## 交通安全を守って 安全・安心のまちへ

今月のテーマ



SDGsの17のゴールの一つ、「すべての人に健康と福祉を」では、全ての人が安全に安心して暮らすため、「道路交通事故による死傷者を半減させる」ことを掲げています。

交通事故を防ぐために大事なことは、交通ルールを守ることです。私たちは、法律や条例によって決められたルールの中で生きています。交通安全に関する法令もその一つ。誰もが子どもの頃から触れている身近なルールですが、少しくらい守らなくても大丈夫と思ってしまうたり、そもそも知らなかったり。そのささいな考えや行動が、交通事故の原因となるかもしれません。

市では、市内の保育園や幼稚園、学校で、年間200回以上の交通安全教室を行っています。交通安全教育指導員を中心に、講話や実技を通じて、道路の歩き方、横断歩道の渡り方、自転車を利用するときの決まりなどの交通ルールと交通マナーを伝えています。子どもたちは真剣に話を聞き、

質問に答えて、交通ルール・交通マナーを学んでいます。子ども頃から交通ルールの基本を知り、しっかりと交通安全を意識することで、大人になっても事故に遭わない、遭わせない心構えが生まれます。

近年、全国そして県内、市内ともに、交通事故の件数・死傷者数は減少傾向にあります。引き続き、悲惨な交通事故を1件でも減らし、事故で傷つく人や亡くなる人がいなくなるよう、私たち一人一人が交通ルールを守り、SDGsのめざす、より安全で安心なまち・高知にしていきたいと思います。



交通安全教室で道路の歩き方などを学んでいます。

【問い合わせ】くらし・交通安全課  
☎823-9487

# 撮りだち トピック photo スNews

まちの出来事を写真でお届け



11月7日(火)  
オリックス・  
バファローズ  
秋季キャンプ

パシフィック・リーグを3連覇したオリックス・バファローズ。秋季キャンプ初日に歓迎セレモニーを開催し、コメや梨など地域の特産品を贈呈しました。



11月11日(土)  
福井市観光物産展

坂本龍馬ゆかりの地の福井市。福井名物のカニやそばなどの特産品販売のほか、餅つき体験など大人も子どもも楽しんでいました。



11月12日(日)  
第50回  
龍馬まつり

オープニングセレモニーの餅投げやよさこい演奏をはじめ、少年剣道大会、50回記念クイズ大会など龍馬にちなんだ多彩な催しで会場は大盛り上がりでした。



11月12日(日)  
みませ祭が  
4年ぶりに開催

ご当地グルメを楽しんでもらうために御畳瀬地区の皆さんが企画した「みませ祭」。特産の沖ウルメの干物などをお目当てにたくさんの人でにぎわいました。



11月16日(木)  
人権作品「最優秀」  
受賞者表彰式

「人権を守り、差別のない平和な社会」をテーマにした詩・標語・ポスターの応募作品から最優秀作品受賞者を表彰しました。



11月23日(木・祝)  
やえもん公園  
防災フェア

水消火器を使った消火訓練、消防車の見学や乗車体験などを通じて、親子連れなど、参加者がそれぞれに防災意識を高めていました。

2023  
11.1  
〔水〕  
11.30  
〔木〕

詳しくは  
Facebookで♪



## 市役所の推しゴト!

### 上下水道局浄水課 編

こんな仕事をしている課です

浄水場の  
運転管理

細やかな  
水質検査

その他の  
業務内容は  
こちらから



▲浄水課の皆さん



「知っていますか？ 旭浄水場は大正生まれ！」  
旭浄水場は、市上水道の基幹施設として大正14年に誕生し、令和7年に100周年を迎えます。平成29年に施設を全面更新した後、針木浄水場とともに今も活躍しています。

■安心・安全の水道水を安定してお届けするために  
浄水場では、河川からの取水や、水に含まれる細かなちりを取り除いた後、消毒して水道水をつくる浄水処理、処理後の水を貯めておく配水池等を、24時間体制で運転管理しています。また、水源流域のパトロールや、浄水場から蛇口までの水質管理を行い、水道水の安全性をチェックしています。これからも、市民の皆さんが安心して水道水を利用できるよう取り組んでいきます。



▲中央コントロール室。24時間365日、水道水の安全を守っています。

【問い合わせ】上下水道局浄水課 ☎843-8630

## 歴史万華鏡

(134回)

### 冬に卵を産むカエル

横倉山自然の森博物館  
学芸員 谷地森 秀二

「カエルのシーズンが始まった！」と、寒い季節に言うと不思議に思うかもしれませんが、氷が張るような季節に卵を産む種類がいる。今回はそんなカエル、アカガエルの仲間を紹介する。

高知県には二ホンアカガエルとヤマアカガエルという2種のアカガエルがいる。名前のとおり両方とも体の色は赤茶色で、体長は二ホンアカガエルでオスは四〜五センチメートル、メスは五〜七センチメートル、ヤマアカガエルは少し大きくて、オスは四〜六センチメートル、メスは四〜八センチメートルくらいである。

ヤマアカガエルは県内の広い範囲にいますが、二ホンアカガエルは見つかっている場所が極めて少なく、「高知県レッドデータブック二〇一八動物編」で絶滅危惧I類にランクされ、さらに二〇二一年には、高知県希少野生動物に指定された。だが、高知市では、両方のアカガエルを観察することができ

る。アカガエルたちは、普段は林や草地の中で暮らしていて、繁殖期だけ浅い池や冬でも水が溜まっている水田に集まってくる。オスたちは、暗くなると

メスと呼ぶ合唱を始める。二ホンアカガエルとヤマアカガエルは鳴き声が異なり、同じ水辺で卵を産むようなことがあってもオスとメスが相手間違ってしまうことはない。

産み出された卵の塊(卵塊)は、水を吸って直径十五〜二十五センチメートルくらいに膨らむ。一つの卵塊には千五百〜三千個の卵が入っている。卵を産み終えたカエルたちは、水辺から離れて、また林や草地に帰って行く。残された卵は、約二週間でおたまジャクシになる。水の中の植物や小さな動物などを食べて育つが、食べ物が少ない場所では共食いすることもある。

いろいろな物を食べながら大きくなり、他の多くの種類のカエルが卵を産む五月の初め頃になると、アカガエルのオタマジャクシは小さなカエルになって、やがて親カエルたちのいる林や草地に旅立って行く。



二ホンアカガエル